鹿児島工業高等専門学校開		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	技術倫理総論	
科目基礎情報							
科目番号	0062	0062			一般 / 必	修	
授業形態	講義	講義			文 学修単位	:: 2	
開設学科	都市環境デザイン工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2	2	
教科書/教材	〔教科書〕 なし 〔参考書・補助教材〕 授業時配布プリント等						
担当教員	町 泰樹,井内 祥人,門松 経久,上小鶴 博						
到達目標							
科学技術は我々に多大な恩恵をもたらしてきた一方で、多くの問題もまた生み出してきた。現在、科学技術に携わる「技術者」にとって必要なものは、その功罪を知ること、そして「科学」や「技術」の根幹部分を問い直し、「技術者として倫理的に生きる」とはどのようなことであるかを、自分自身で考え決断する態度である。昨今、技術者に求められる社会的責任は大きく、そして多様化したものであるが、歴史的・思想的背景や法的責任、そして実際に起こった事例などを多角的に検討していまった。また、最低限必要な、論文・しば、となばなれていまった。また、最低限必要な、論文・しば、となばなれて奇様も、本科目の大きなり標のなどである。							

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1 企業におけるユニバーサルデザインや環境への配慮の取り組みから、誇り高い技術者のあり方について理解する。	誇り高い技術者のあり方について 、自分の言葉で説明できる。	誇り高い技術者のあり方に関する 複数の説明文から、適切なものを 選択することができる。	誇り高い技術者のあり方について 、一問一答式で答えることができ ない。			
評価項目2 技術者と社会との関係性と、そこ から生じる倫理的責任について理 解する。	技術者と社会との関係性と、そこから生じる倫理的責任について、自分の言葉で説明できる。	技術者と社会との関係性と、そこから生じる倫理的責任に関する複数の説明文から、適切なものを選択することができる。	技術者と社会との関係性と、そこから生じる倫理的責任について、一問一答式で答えることができない。			
評価項目3 技術者が配慮すべき対象(人々や 事柄)について、具体的な事例に 即して理解する。	技術者が配慮すべき対象 (人々や 事柄) について、自分の言葉で説 明できる。	技術者が配慮すべき対象(人々や 事柄)に関する複数の説明文から 、適切なものを選択することがで きる。	技術者が配慮すべき対象(人々や 事柄)について、一問一答式で答 えることができない。			
評価項目4 技術者倫理にかかわる具体的な事 例をグループで収集し、発表でき る。	技術者倫理にかかわる具体的な事例をグループで収集・整理して、 分かりやすく関心を引く発表ができる。	技術者倫理にかかわる具体的な事例をグループで収集・整理して、 発表ができる。	技術者倫理にかかわる具体的な事 例をグループで収集・整理できず 、発表もできない。			
評価項目5 技術士の観点から、技術者の関係 する実務上の諸問題とその解決法 を理解する。	技術者の関係する実務上の諸問題 とその解決法について、自分の言 葉で説明できる。	技術者の関係する実務上の諸問題 とその解決法に関する複数の説明 文から、適切なものを選択するこ とができる。	技術者の関係する実務上の諸問題とその解決法に関して、一問一答式で答えることができない。			
学的の別等日標符号 との間接						

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	〔本科目の位置付け〕 本科目はこれまでの人文科目(主に社会科科目)で学んだ基礎的教養をもとに、技術者として の自覚と責任を再認識するためのものであると同時に、専攻科2年次の「技術倫理」とも関連する科目である。
授業の進め方・方法	〔学習上の留意点〕 講義内容を理解するために、毎回、前回の講義を参考に2時間程度の予習をし、授業時間での質問等に対応できるようにしておくこと。また、講義終了後は、復習として2時間程度の演習問題等の課題に取組むこと。疑問点があれば、その都度質問すること。
1	

注意点___

授業計画

1週 オリエンテーション 授業や事例研究の進め方について理解する。(非評価項目) 2週 誇り高い技術者とは?(1) 企業におけるユニバーサルデザインや環境への配慮の取り組みから、誇り高い技術者のあり方について理解する。 技術とは何か、技術者とはどういう人なのか?(1) 技術者と社会との関係性と、そこから生じる倫理的責任について理解する。 技術者は何に配慮すべきか?(1) 技術者が配慮すべき対象(人々や事柄)について、具体的な事例に即して理解する。 技術者は何に配慮すべきか?(2) 7週 事例研究:資料作成 技術者倫理にかかわる具体的な事例を収集し、それを発表する準備を行なう。 事例研究:発表(1) 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 事例研究:発表(2) 10週 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 15週 試験答案の返却・解説 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)。	1X-X-111E	+	_		
1回			週	授業内容	週ごとの到達目標
1stQ 詩り高い技術者とは?(1)			1週	オリエンテーション	
技術とは何か、技術者とはどういう人なのか?(1) 任について理解する。 4週 技術とは何か、技術者とはどういう人なのか?(2) 技術者は何に配慮すべきか?(1) 技術者が配慮すべき対象(人々や事柄)について、具体的な事例に即して理解する。 技術者は何に配慮すべきか?(2) 技術者倫理にかかわる具体的な事例を収集し、それを発表する準備を行なう。 8週 事例研究:発表(1) 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 9週 事例研究:発表(2) 10週 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題(2) 13週 技術者と実務上の諸問題(2) 13週 技術者と実務上の諸問題(3) 長記録において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			2週	誇り高い技術者とは?(1)	
技術者は何に配慮すべきか? (1) 技術者が配慮すべき対象(人々や事柄)について、具体的な事例に即して理解する。 技術者は何に配慮すべきか? (2) 技術者倫理にかかわる具体的な事例を収集し、それを発表する準備を行なう。 接術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 事例研究:発表(1) 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 事例研究:発表(2) 10週 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術者と実務上の諸問題(2) 13週 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 名試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			3週	誇り高い技術者とは?(2) 技術とは何か、技術者とはどういう人なのか?(1)	
技術者は何に配慮すべきか? (1) 技術者が配慮すべき対象(人々や事柄)について、具体的な事例に即して理解する。 技術者は何に配慮すべきか? (2) 技術者は何に配慮すべきか? (2) 技術者倫理にかかわる具体的な事例を収集し、それを発表する準備を行なう。 事例研究:発表(1) 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 できる。 事例研究:発表(2) 10週 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 技術者と実務上の諸問題(1) 技術者と実務上の諸問題(2) 13週 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		1stO	4週	技術とは何か、技術者とはどういう人なのか?(2)	
万週 事例研究:資料作成 技術者倫理にかかわる具体的な事例を収集し、それを発表する準備を行なう。 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 10週 事例研究:発表(2)			5週	技術者は何に配慮すべきか? (1)	
新州研究: 資料作成 発表する準備を行なう。 技術者倫理にかかわる具体的な事例について、発表ができる。 9週 事例研究:発表(2) 10週 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題			6週	技術者は何に配慮すべきか? (2)	
15週 事例研究:発表(1) 「できる。 「の週 事例研究:発表(3) 「の週 事例研究:発表(4) 「技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題(2)			7週	事例研究:資料作成	
2ndQ 事例研究:発表(3) 11週 事例研究:発表(4) 12週 技術者と実務上の諸問題(1) 13週 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 15週 試験答案の返却・解説 A 会試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。	前期		8週	事例研究:発表(1)	
11週 事例研究:発表(4) 技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題			9週	事例研究:発表(2)	
12週 技術者と実務上の諸問題(1) 技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題とその解決法を理解する。※技術士の講義と演習形式の授業の組み合わせで実施する。 13週 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 名試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			10週	事例研究:発表(3)	
2ndQ 技術者と実務上の諸問題(1)			11週	事例研究:発表(4)	
13週 技術者と実務上の諸問題(2) 14週 技術者と実務上の諸問題(3) 15週 試験答案の返却・解説 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。	2nd	2ndO	12週	技術者と実務上の諸問題(1)	とその解決法を理解する。※技術士の講義と演習形式
15週 試験答案の返却・解説			13週	技術者と実務上の諸問題(2)	
15週 試験合業の返却・解説 する (非評価項目)。			14週	技術者と実務上の諸問題(3)	
LEVE			15週	試験答案の返却・解説	
			16週		

評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100	
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	